

はじめに

「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」の 実現を目指して



私にとりまして今回の基本構想策定は、前回の第3次基本構想に引き続き2度目となり、大変貴重な経験であり、大変重い責任を感じております。基本構想は、市の最上位計画として、今後10年間の進むべきルートマップとなります。市全体で共有する小金井市の将来像を描き、その実現に向けて全ての市民、団体及び事業者、そして市が課題を共有しながら取り組んでいくための、基

本的な指針となるものです。私たちは、ここに憲法に保障された地方自治の本旨にのっとり、市民のしあわせを増進することを目的に、第4次基本構想を策定いたしました。

策定に当たっては、基本構想を「市民と市が地域社会において活動をする際の指針」として位置付け、策定過程においては、できる限り多くの市民の皆様への参加を進めてまいりました。長期計画審議会は公募委員を増員し、起草委員会と合わせ32回開催されました。市内中学校5校が参加しました子ども懇談会、無作為抽出による市民参加の取組では市民討議会及び市民フォーラム、その他に市民懇談会、パブリック・コメントなど第4次基本構想が掲げる「参加と協働」にふさわしい取組が行われました。また、庁内では長期総合計画策定本部、分野別専門部会、長計総合計画策定研究会を組織し、全庁を挙げて市民との基本構想策定に取り組み、議会においても活発な議論が行われました。第4次基本構想は市民、議会、行政が一体で創りあげた計画であります。

この基本構想では、小金井市が目指す10年後の将来像を「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」とするとともに、まちづくりの基本姿勢、市の特徴と課題及び市民ニーズに基づく重点的・横断的政策である重点政策を明らかにし、指標として、「住みやすさの向上」と「住み続けたいと思う市民の割合の増加」を設定しました。今後、多くの市民の皆様がこの基本構想を活用していただき、市民の皆様と共に基本構想実現に全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、多くのご意見をいただくなどご支援、ご協力いただいた市民の皆様、長期計画審議会委員及び市議会議員の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成23年3月

小金井市長

箱崎孝彦

目次

小金井市長期総合計画

○第4次小金井市基本構想	1
1 基本構想の目的と策定意義・役割	3
2 基本構想の前提	4
3 社会潮流と小金井市の現状（特徴と課題）	6
コラム 長期計画審議会の議論から	10
4 まちづくりの基本姿勢	11
5 小金井市の将来像	12
6 施策の大綱	16
① みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）	16
② ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）	18
③ 豊かな人間性と次世代の夢を育むまち（文化と教育）	20
④ 誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち（福祉と健康）	22
7 計画の推進	24
○前期基本計画	27
第1部 総論 前期基本計画の構成	29
第1章 基本計画の目的と策定意義・役割	31
第2章 基本計画の前提	32
第3章 基本計画の概要	35
第4章 重点プロジェクト	38
第5章 施策の体系	46
施策の読み方	52
第2部 各論 施策の課題と計画	53
第1章 みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）	55
1 みどりと水	56
2 ごみとまちの美化	60
3 環境保全	64
4 市街地整備	67
5 住宅・住環境	70
6 道路・河川	74

第2章 ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）	79
1 コミュニティネットワーク	80
2 地域安全	83
3 創造的産業	87
4 商業	90
5 工業	94
6 農業	96
7 消費者生活・勤労者福祉	99
8 雇用	102
第3章 豊かな人間性と次世代の夢を育むまち（文化と教育）	105
1 文化・芸術	106
2 人権・平和・男女共同参画	110
3 生涯学習	113
4 スポーツ・レクリエーション	116
5 学校教育	119
6 幼児教育	123
第4章 誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち（福祉と健康）	127
1 地域福祉	128
2 高齢者福祉	131
3 子ども家庭福祉	135
4 障がい者福祉	139
5 健康・医療	143
第3部 計画の推進	147
1 市民参加・市民協働	149
2 行政経営	152
3 計画的行政	155
4 財政・財務	158
○付属資料	161
1 市民意向調査の概要	163
2 中期財政計画の概要	168
3 市の憲章等及び諸計画一覧	171
4 策定の経過	174
5 長期計画審議会	175
6 長期総合計画策定本部	177
7 用語の説明	180